

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

防府市長 池田 豊

市町村名 (市町村コード)	防府市 (35206)
地域名 (地域内農業集落名)	上田真鍋 (開作【B】)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 5年6月9日、9月14日 (第1~2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域農業の現状及び課題

- ・耕作者数73戸、市内在住61戸、平均年齢70.7歳、認定農業者等 1法人、11人(平均年齢63.5歳)
- ・耕地面積82ha、経営体面積63.5ha、集積率77.3% ほぼ全域が農振農用地となっている。
- ・主に「水稻」「施設花き」等を中心に、担い手が大部分の集積可能農地を耕作している。
- ・基盤整備事業を平成8年度から平成13年度及び平成27年度から令和2年度にかけて実施している。
- ・排水不良が課題となっていたため農業競争力強化基盤整備事業により令和2年度にFOEASシステムを導入し、水管理の省力化・適正化を行った。
- ・さのぜき保全会にて泥上げや農道・水路の部分補修などを行っている。
- ・米価下落に対応したコスト削減や省力化の取り組みが必要。
- ・地域内農業法人が令和5年度から開設された県立農業大学校土地利用学科生の研修受け入れ先になるなど、知と技の拠点と連携を図っている。
- ・WCS用稲や飼料作物の供給先確保や堆肥利用によるコスト削減のため一部圃場では耕畜連携(資源循環)の取り組みを行っている。
- ・高齢化に伴う経営継承の課題が顕在化している。

## (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・大道地区の法人が連携して設立された集落営農連合体等を受け皿に、農業大学校卒業生等を中心とした若者を継続的に雇用し、耕作困難な農地の受け皿として更に規模拡大を目指すとともに、住宅の確保等若者の受け入れ体制を整備するなど、大道全域で持続可能な営農体制づくりを進める。
- ・高齢化などに伴い規模縮小や離農が起こった時には、地元協議を積極的に行い、円滑な継承・移譲を進めていく。
- ・乾田直播やスマート農業の導入検討などの省力化・コスト削減の取り組みを進めて収益性の向上を目指す。

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

## (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	82 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	82 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

## (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

- ・農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手間の交換分合による一層の集約化を進めていく。</li> <li>・地域の調整による、中心経営体、多様な経営体への適切な農地集積・集約化を進める。</li> </ul>
(2) 農地中間管理機構の活用方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定農業者中心に農地中間管理機構の事業をフル活用できるよう取り組む。また、借受農地管理等事業の活用などにより、より良い農地条件で営農を行えるように進める。</li> </ul>
(3) 基盤整備事業への取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基盤整備事業は令和2年度に完了しており、当面事業の計画は無い。</li> <li>・基盤整備事業で導入したFOEASシステムにより一層の生産量の増大、高品質化を進め、効率的かつ安定的な農業経営に取り組む。</li> <li>・多面的機能支払交付金事業を活用し、水路や農道などの施設の長寿命化のための補修や更新を計画的に進めていく。</li> </ul>
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・兼業農家等について、必要に応じ多様な経営体として育成し、中心経営体へのステップアップを支援する。</li> </ul>
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農用地区域内で安全に防除可能な圃場では、無人航空機防除の作業委託を活用し省力化を図る。</li> </ul>

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

--